

紀州まるごとツアー

7月24日（水）～7月26日（金）

IN 和歌山県立潮岬少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発 白良浜遊び	石拾い 施設到着	夕飯づくり 振り返り
2日目	くじらの博物館見学	イルカスイム体験	お楽しみタイム 振り返り
3日目	清掃・施設出発 プール遊び	お土産購入タイム メロン狩り・食べ放題	

一日目： 梅雨が明け、真っ青な夏空の下、キャンプがスタートしました。今回はグループ分けをしないため、移動中、初めは知り合いとのみ話されていましたが、徐々にその輪が拡がり、白良浜につく頃には、皆気兼ねなく談笑されていました。昼食後、白良浜へ向かいました。梅雨明けの暑い日差しが照り付けている中にも関わらず、想像以上の人の多さに驚きました。そして、とてもキレイな砂浜に感動し、時間いっぱい楽しみました。次に向かったのが、【志原海岸】という場所です。この海岸の石は全て角が取れており、丸い形をしています。気に入った石を拾い集めました。施設に到着とすぐに夕食の準備を始めました。やることを分担し、手際よく進める事が出来ました。夕食後は、日中拾ってきた石に今日の思い出を描きました。ほとんどの方が白良浜での海遊びでしたが、注目する点が各々異なっており、その説明一つ一つがとても興味深かったです。



二日目： 今日は一日かけて紀州の魅力を堪能します。朝食を済ませ、午前中は【くじらの博物館】へ向かいました。ここでは鯨の構造から、鯨漁の歴史、くじらショーなど様々な視点から楽しむことが出来ました。イルカを間近で見ることが出来、一同興奮しました。お土産もしっかり吟味されており、購入した際はとても満足気な様子でした。午後からは今回のキャンプの目玉プログラムであるイルカとの触れ合い体験です。ウェットスーツを着用した際少し緊張されていた様子でした。イルカが泳いでいるところに向かい、対面すると、その大きさに驚いておられました。初めて触れるイルカに困惑されましたが、慣れてくると積極的に触ろうとされました。イルカとの関係性が築けてくると一緒に泳ぐことが出来、本当に笑顔いっぱい嬉しそうでした。帰りの車内は相当疲れたのでしょう、ほとんどの方が休まれていました。夜は、おたのしみプログラムとして『花火』を楽しみました。「今年、初花火！！」と仰っている方もおられ、この頃には男女の隔たりはなく、皆楽しそうでした。



三日目： 朝からリネンの片付けや荷物の片付けに忙しそうでした。朝食を済ませ、早めに掃除を終わらせる事が出来たので、施設のプールにて楽しむ時間を設けることが出来ました。ジメジメしている気候でしたが、とても気持ちよさそうでした。そして、お世話になった施設を出発しました。途中、本州最南端「潮岬」に寄り、お土産を購入するために【とれとれ市場】へ向かいました。ここは本州のお土産が一同に揃っているので、しっかり時間を設けて吟味していただきました。試食コーナーが沢山設置されており、遠慮することなく沢山食べておられました。しっかりお土産を購入した後、おまちかねの『メロン狩り、食べ放題』です。農家の方からメロンの育て方や美味しいメロンの見極め方、採り方を教えていただき、自身のお気に入りのメロンを狩りました。そして、冷たいメロンを沢山いただきました。「今までこんなに食べたことない」と仰るほど何度もおかわりをされ、1玉分食べた方もおられました。食べ終わる頃には最高の笑顔が伺えました。帰りの道中も元気いっぱいな様子で、沢山のお土産を手に持ち、満足そうに解散されました。



<キャンプ総括>

昨年より実施しています紀州まるごとツアーですが、他のキャンプとは異なり、体験を重視している内容となっています。よって普段のキャンプの雰囲気を感じにくい為、メンバーにとって意識の切り替えが難しいかと思われます。それでも、二日目には「遊びではない」事を感じ取られ、動きにメリハリが出始めました。『楽しんでいただく』事を大前提に進めていますが、【楽しむ=遊び】だけではない事を学んでいただければ幸いです。来年も実施しますので、是非ともご参加ください。

（竹中 哲郎）